育成 モノづくり人材 Vol. 8

岡山県立岡山工業高校

知・徳・体 バランスよく

岡山県立岡山工業高校の創立は1901年。現在はJR岡山駅近くの校舎に機械、土木、化学工学、デザイン、建築、情報技術、電気と七つの専門科を擁し958人が学ぶ。学科が幅広いのは49年、工芸学校が前身の岡山市立工芸高校と統合し国でも珍しい学科を横断型のクラス編成を実施した。進取の気性も岡工の特徴の一つ。

県を代表する工業高校であり、各種のスポーツ大会や高校生ものづくりコンテストでも常に好成績を収める。文武両道を地で行く活躍ぶりだが、高柳克彦校長は「目指しているのは知、徳、体のバランスがとれた人づくり」と、結果より過程に重きを置く。

世に言う〝文武に秀でた〟学校の多くは、勉強に励む生徒と部活動に熱心な生徒の二つの集団が存在する。して一人ひとりが学業と部活の両方を頑張り抜き人間として成長することだけできれば良いとは考えていない」（内田範政副校長）。まして燃え尽きて卒業後は資格も部活も思い出したくない―では意味がない。心がけるのは「誠実勤勉」の校訓に沿って人間力を育てることは燃え尽き症候群を防ぎ、将来の飛躍をも可能にする。社会に出てより国語や英語など共通科目にも丁重な指導を行い、社会に出る基礎を身につけさせる。

古くて新しい名門、岡工の目指すところだ。

（岡山支局長・浅田一朗）

（金曜日に掲載）

高柳校長

【DATA】▷校長＝高柳克彦氏▷所在地＝岡山市北区▷学科構成＝機械科、土木科、化学工学科、デザイン科、建築科、情報技術科、電気科▷総定員＝960人▷実習設備＝汎用旋盤、フライス盤、NC旋盤、ドラフター、丸鋸盤、ガスクロマトグラフィーなど▷主な進路＝岡山県、岡山市、玉野市、日立製作所、ホンダ、トヨタ自動車、デンソー、アイシン精機、マツダ、三菱電機、JFEスチール、三井造船、カバヤ食品、中国電力、岡山大、岡山県立大、岡山理科大、鳥取大、広島工業大、武蔵野美大、中国職業能力開発大学校など

高校生ものづくりコンテストの測量部門出場に向けて練習を重ねる土木科の生徒ら

無断転載・複写禁止 ㈱日刊工業新聞社